

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和５年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評 価
2023-3	衝撃履歴を受ける落石防護土堤の残存耐力評価法と土を利活用した合理的な復旧・補強の技術研究開発	名古屋工業大学 教授 前田 健一	A
<p><研究の概要></p> <p>堅牢でしなやかな環境調和型の道路斜面防災対策の実現に向けて、低コストで施工性・長期耐久性・復旧性に優れる落石防護土堤に着目し、落石捕捉後の残存耐力評価手法・土を利活用した補強技術・復旧時の技術選定方法に関する技術研究開発を行う。</p> <p><中間評価結果></p> <p>実験・解析について着実な成果を出されており、最終年度に行われる実規模検証により本手法の実用上の優位性が検証されることが期待できることなどから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値解析による効率的な照査方法や土堤復旧時の技術選定方法について、具体的な実施内容・検証内容が明確になるとよい。 ・単発および複数回の落石捕捉後の土堤の残存耐力評価法、落石捕捉性能向上のためのソイルセメント材料による土堤の補強工法の設計法など、実用化に必要な成果が確実に得られるようにしていただきたい。 ・維持管理も含めた土堤復旧時の技術選定方法マニュアルの作成だけでなく、点検・復旧マニュアルなどの作成についても期待する。 ・適用対象現場の把握、技術基準類への反映等、本成果の現場への適用を留意して研究を進められたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 53 回新道路技術会議において審議したものである。